

G.

まちなみ・まちかど

この分野は、「まち」に関わる要素のうち、人々が住む市街地における建物や空間などを一体として考える「まちなみ」や、ちょっとした小空間、個別の建物の状況を意味する「まちかど」を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【広場】

緑にあふれ、老いも若きもふれあえ、
にぎわえる広場がある

【商業地】

親しみがあり、五感を揺らす魅力ある
商店が建ちならんでいる

【景観】

親しみのある路と
やすらぎのあるまちなみが続いている

【文化的活動空間】

文化や芸術、スポーツを
身近に感じられる空間がある



環境指標と数値目標

NO.	指標名	現状値[H.19]		短期目標[H.25]	長期目標[H.35]
G 1	歴史・文化を感じられる建物指定数	4	件	2 0	1 0 0
G 2	まちなみ保存地区数	-	地区	1	3
G 3	一人当たりの公園面積	9 . 2	m ²	1 0	1 0

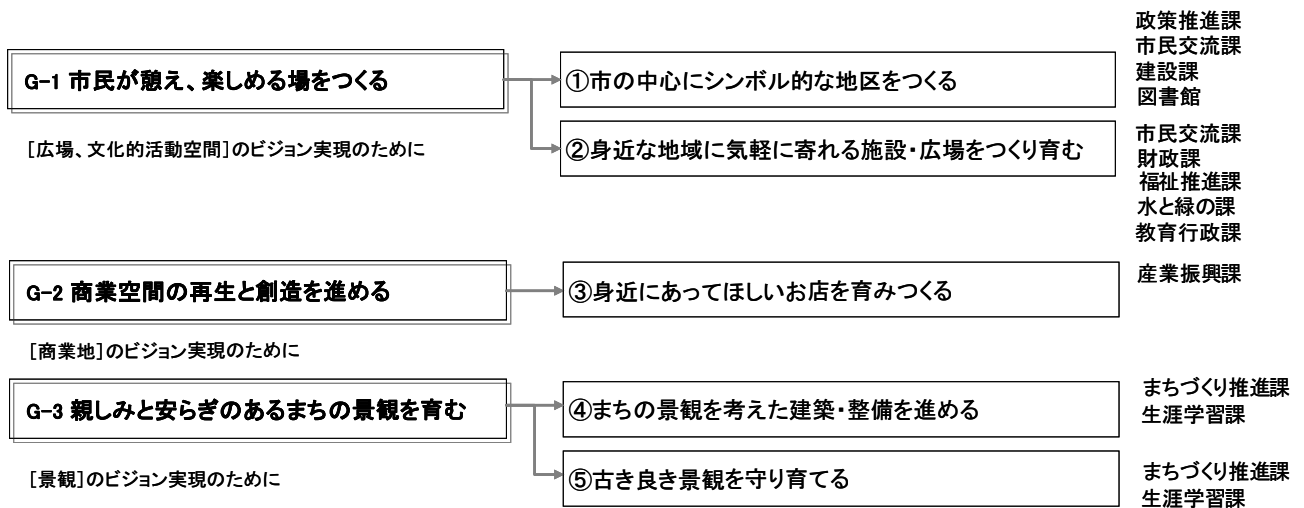
[検討・把握する環境指標] 特定の公園利用者数、市民会館・スポーツセンター・図書館等の利用者数

「環境まちづくりビジョン」を実現するために！こうしていこう！



環境まちづくりプログラム

施策の体系



G-1 市民が憩え、楽しめる場をつくる

日進駅から市役所周辺にかけた地区における拠点（＝市の中心核）づくりを通して、市民が憩え、様々な文化的活動を楽しめる場をつくっていきます。同時に、気軽に立ち寄れる施設や広場を地域につくり、育てていきます。

[施策メニュー]

市民会館・スポーツセンターなどの施設間を結ぶ遊歩道の整備、市民サロンやイベントを通して市民や学生が交流を持てる場の創造、イベントを企画・運営する組織づくり、図書館の新設と情報交流拠点としての活用

公民館・福祉会館・学校などの設備充実と有効活用、既存の公園の魅力向上、市の管理する緑地の開放、民有林の市民緑地化、市民による緑地愛護会の育成、空き家の改装による公共施設化



市の中心部にあるスポーツセンター

G-2 商業空間の再生と創造を進める

身近な商業空間は、人々が集まりにぎわいのある空間として、地域の広場的な要素を持っています。そのために、市民や学生主体の店の経営といった地域のニーズに応じた循環型の経済をつくとともに、身近な商店とその周辺環境の再生と創造を進めていきます。

【施策メニュー】

市民や学生主体の店の経営支援、日進特産品の店など個々の店に特徴や味を感じられるお店の誘致や創造、縁日の開催、イベント空間・情報ステーション等の整備、土・花・果実・香り・味・歩行優先など五感を揺らす商業空間の創造、環境に配慮したお店（リサイクルショップ・エコ商店など）の誘致や創造

G-3 親しみと安らぎのあるまちの景観を育む

日進には日進の風景や色があります。それは緑の田園風景であったり、昔ながらのまちなみであったり、そうした景観は親しみと安らぎを感じさせます。そうした今あるすぐれた景観を保全するとともに、新しい日進の顔となる景観を育てていきます。

【施策メニュー】

地区計画による地域のまちづくりの推進、すぐれた景観のPR、歴史・文化を感じられる建物等百選の実施、景観基本計画の策定
細い路地など歴史を感じる昔ながらのまちなみの保存・活用・PR、史跡や文化財の保存



ため池も活用した野方三ツ池公園



岩藤新池